

福岡市の水道に関する
お客さまアンケート調査
報告書 概要版

令和6年3月

福岡市水道局

目 次

I 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査項目	1
3 調査の性格	1
4 調査結果利用上の注意	1
5 標本特性	2
II 調査結果	4
1 節水に関する意識について	4
(1) 節水意識	4
(2) 節水に心がけている理由	5
(3) 昭和 53 年・平成 6 年の給水制限について	6
(4) 給水制限の認知経路	7
2 水道水に関する意識について	8
(1) 水道水の安全性	8
(2) 安心と思う理由	9
(3) 不安と思う理由	10
(4) 安心感を得るために必要な情報	11
3 家庭で使用している飲用水について	12
(1) 飲用水の飲用方法	12
(2) 水道水に浄水器やウォーターサーバーを利用して飲用している理由	14
(3) 市販のボトル水やくんできた天然水を飲用する理由	15
4 安全でおいしい水道水プロジェクトについて	16
(1) 安全でおいしい水道水プロジェクトについて	16
(2) 水道水に対する満足度	17
5 水道料金について	18
(1) 水道料金等の把握状況	18
(2) 水道料金が全国一律でないことについて	18
6 水道局の取組みについて	19
(1) 福岡市で使用している水の多くを市域外に頼っていること	19
(2) 国際貢献の取組みについて	19
(3) 特に知りたい水道に関する情報	20
7 水道行政への評価について	21
(1) 水道行政の総合的満足度	21
(2) 各種取組みに対する満足度	22
(3) 今後、重点的に力を入れて取り組んでほしいこと	23

I 調査概要

1 調査目的

水に関する意識や行動及び多様化する市民ニーズを調査・分析することで今後の水道事業を進めていくための基礎資料とする。

2 調査項目

- (1) 節水に関する意識について
- (2) 水道水に関する意識について
- (3) 家庭で使用している飲用水について
- (4) 安全でおいしい水道水プロジェクトについて
- (5) 水道料金について
- (6) 水道局の取組みについて
- (7) 水道行政への評価について

3 調査の性格

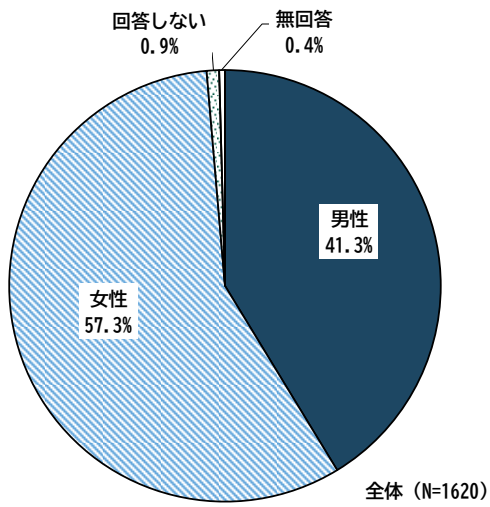
- (1) 調査地域 福岡市全域
- (2) 調査対象者 福岡市に居住する満 18 歳以上の男女 3,000 人
- (3) 有効回収数 1,620(有効回収率 54.0%)
※令和 元年度調査 1,579 (有効回収率 52.6%)
平成 27 年度調査 1,650 (有効回収率 55.0%)
平成 25 年度調査 1,353 (有効回収率 45.1%)
- (4) 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送法とWEB調査併用
- (6) 調査期間 令和5年 11 月3日～11 月 17 日

4 調査結果利用上の注意

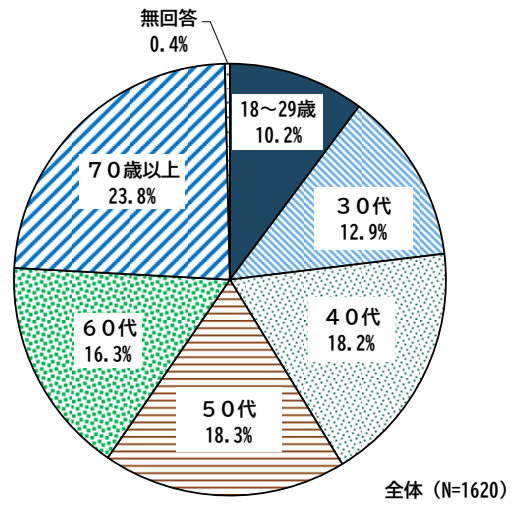
- (1) 集計は小数点以下第 2 位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも 100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する質問(複数回答)の場合、その回答比率の合計は 100%を超える場合がある。同様に、2つ以上の回答を要する質問(複数回答)の場合、その回答数の合計は数表上の「全体」の値と異なる場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示す N は、比率計算上の基数(標本数)である。
N: 標本全数
n: 該当数(その質問に回答しなくてよい人を除いた数)
- (4) 文中の選択肢の表記は「」で行い、選択肢のうち、2つ以上のものを合計して表す場合などは『』としている。
- (5) 属性別の分析等において、基数(標本数)が少ないものについては、分析コメントを割愛する場合がある。
- (6) 以下のとおり水道局のこれまでに実施した過去の調査と比較分析を行っている。前回、前々回の調査結果の記載がない質問は、今回調査での新規の質問である。
 - ・令和 元年度 福岡市の水道に関するお客さまアンケート
 - ・平成27年度 福岡市の水道に関するお客さまアンケート
 - ・平成25年度 福岡市の水道に関するお客さまアンケート

5 標本特性

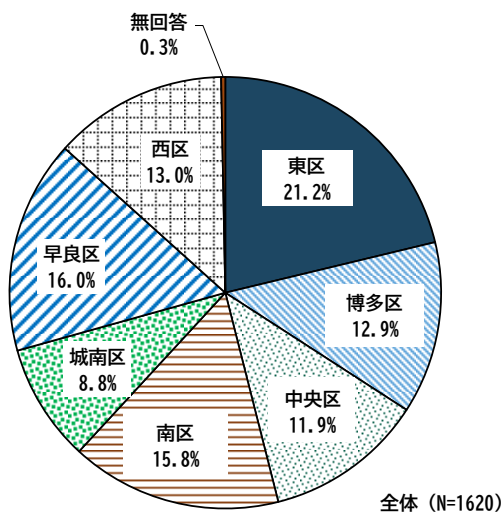
(1) 性別



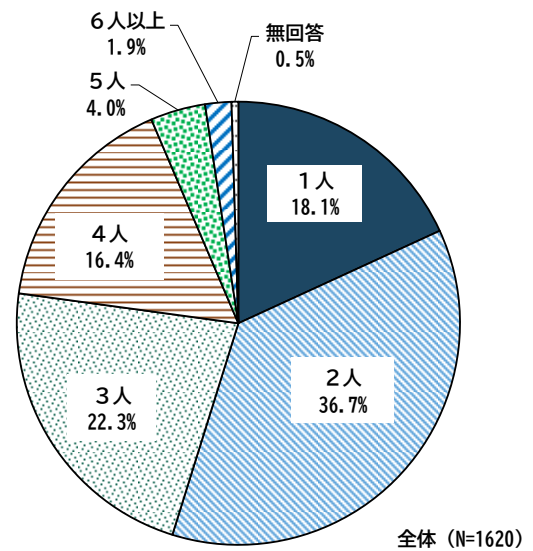
(2) 年代



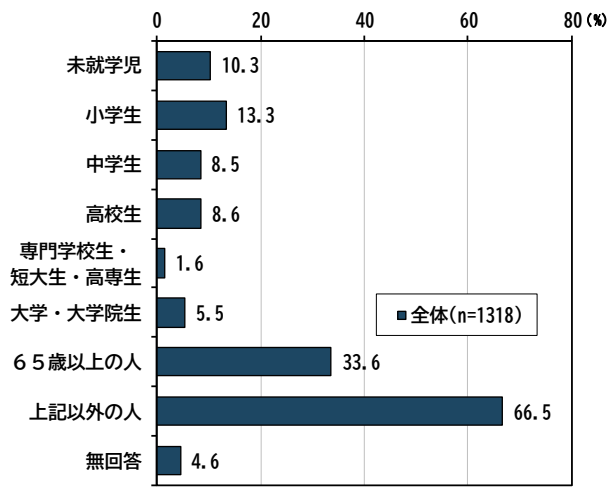
(3) 居住区



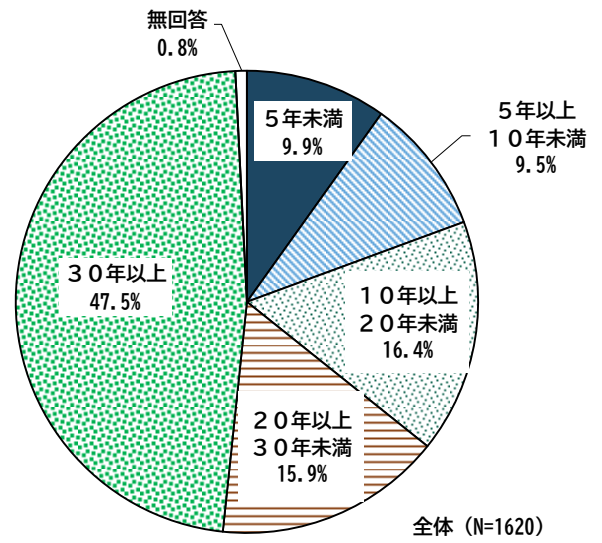
(4) 同居人数



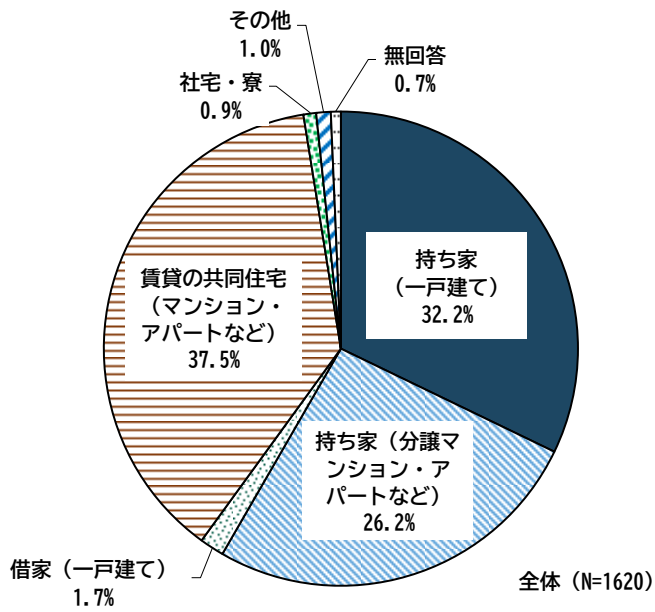
(4-2) 居住家族



(5) 居住年数



(6) 住居形態



II 調査結果

1 節水に関する意識について

(1) 節水意識

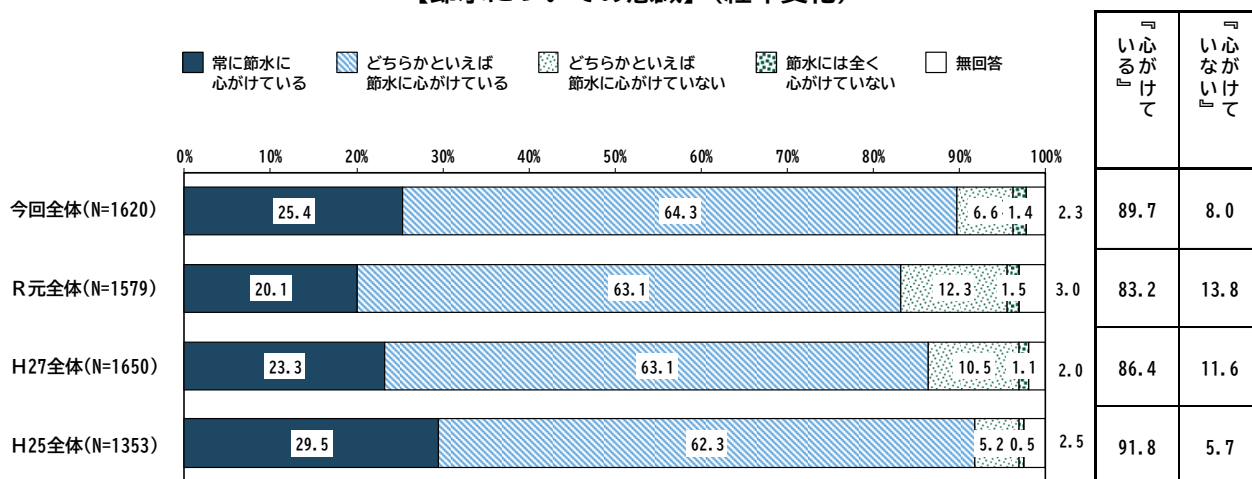
問1 あなたは、節水についてどのような意識をお持ちですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

節水についての意識としては、「常に節水に心がけている」が25.4%、「どちらかといえば節水に心がけている」が64.3%、両者を合計した『心がけている』は89.7%となっている。一方、『心がけていない』は8.0%（「どちらかといえば節水に心がけていない」6.6%+「節水には全く心がけていない」1.4%）となっている。

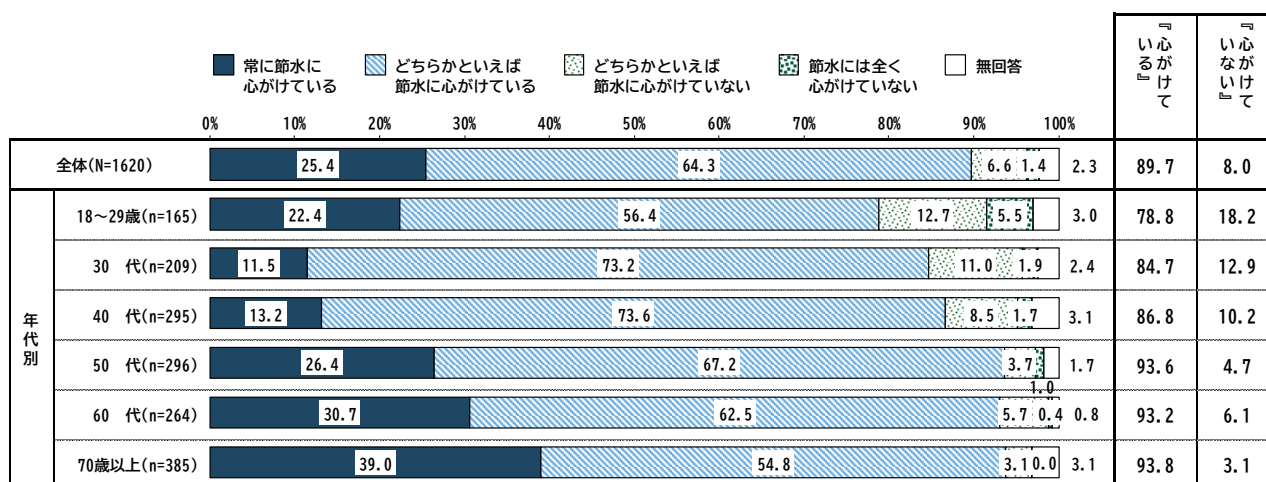
経年変化でみると、『心がけている』は、平成25年度では91.8%であったが、平成27年度は86.4%、令和元年度は83.2%にまで減少したが、今回は89.7%と、前回よりも6.5ポイント増加している。

年代別でみると、年代が上がるほど『心がけている』が高くなる傾向にある。ただ、「常に節水に心がけている」は、30・40代では1割台と、18～29歳と比べても低くなっている。

【節水についての意識】（経年変化）



【節水についての意識】（年代別）



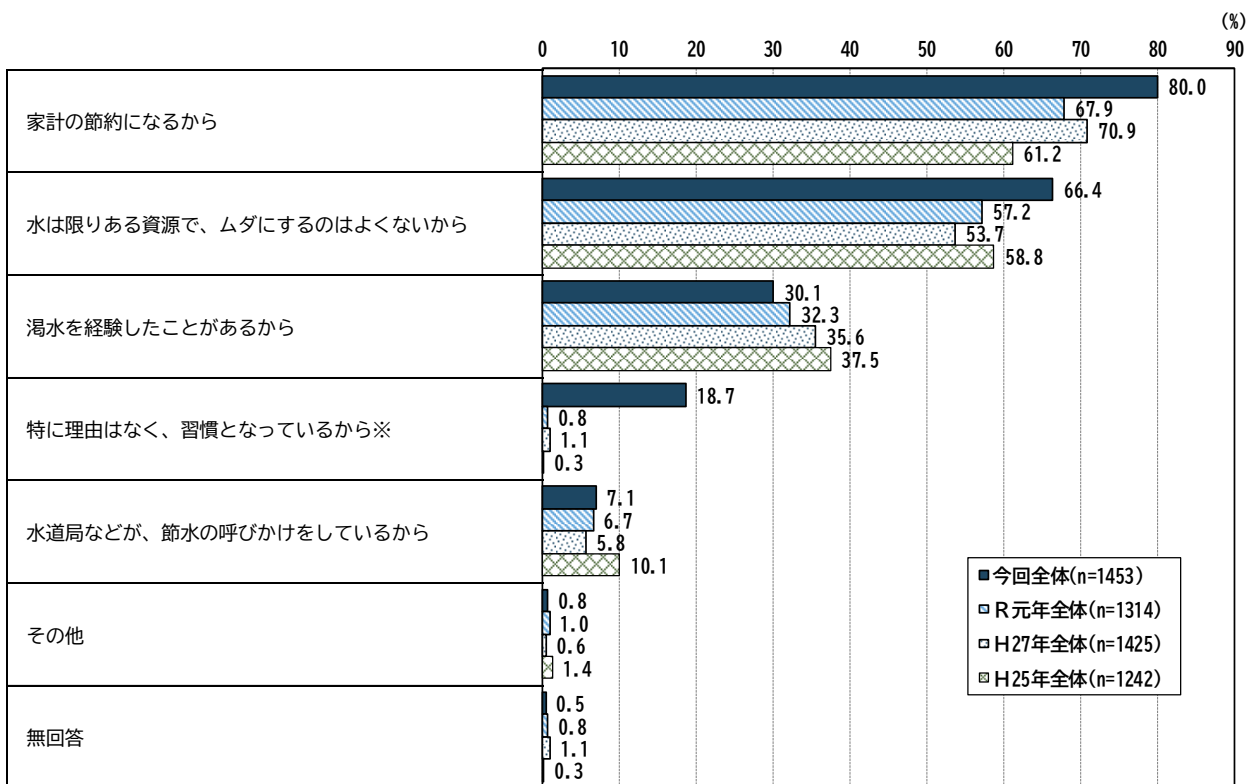
(2) 節水に心がけている理由

問2 問1で「1. 常に節水に心がけている」「2. どちらかといえば節水に心がけている」と回答した方におたずねします。あなたが、節水に心がけている理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

節水に心がけている理由としては、「家計の節約になるから」が80.0%と最も高くなっている。次いで「水は限りある資源で、ムダにするのはよくないから」(66.4%)、「湧水を経験したことがあるから」(30.1%)、「特に理由はなく、習慣となっているから」(18.7%)となっている。

経年変化でみると、「家計の節約になるから」、「水は限りある資源で、ムダにするのはよくないから」は増加傾向にあり、「湧水を経験したことがあるから」は減少傾向にあるものの、上位3項目の順位に変化はみられない。

【節水に心がけている理由】(経年変化)



※ 令和元年度までは「特に理由はない」

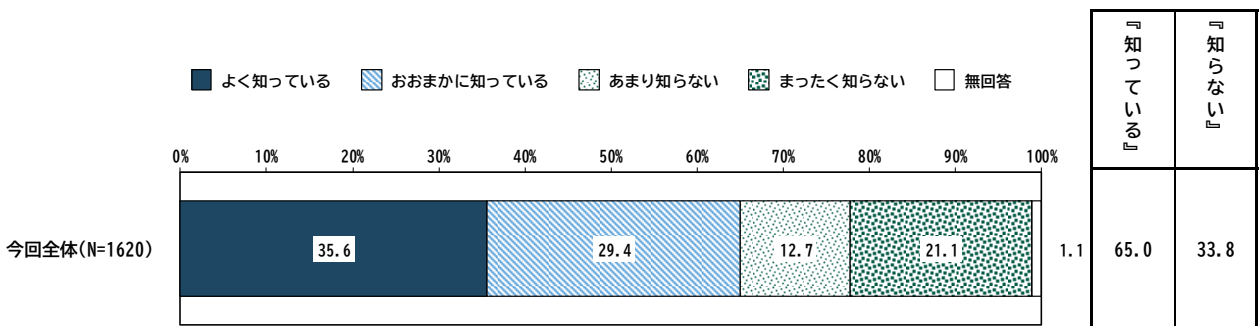
(3) 昭和 53 年・平成 6 年の給水制限について

問6 あなたは、昭和 53 年と平成 6 年に、福岡市で大湯水となり長期間の給水制限があったことを知っていますか。次の中からあてはまるものを 1 つだけ選び、番号に○をつけてください。

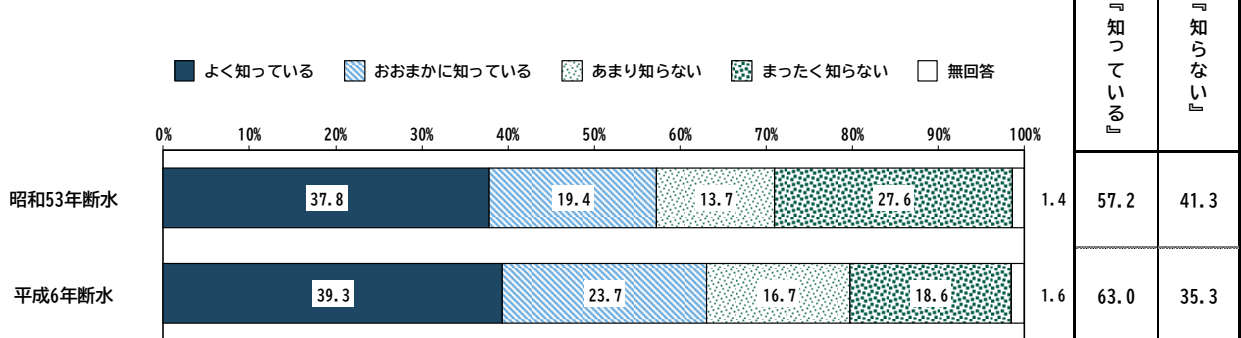
昭和 53 年と平成 6 年の給水制限については、「よく知っている」が 35.6%、「おおまかに知っている」が 29.4%、両者を合計した『知っている』は 65.0%となっている。一方、『知らない』は 33.8%（「まったく知らない」21.1%+「あまり知らない」12.7%）となっている。

年代別でみると、年代が上がるほど『知っている』が高くなっており、特に 50 代以上では8割を超えているが、40 代で 46.8%と半数を割り、30 代で 29.2%、18～29 歳では 18.2%と低くなっている。

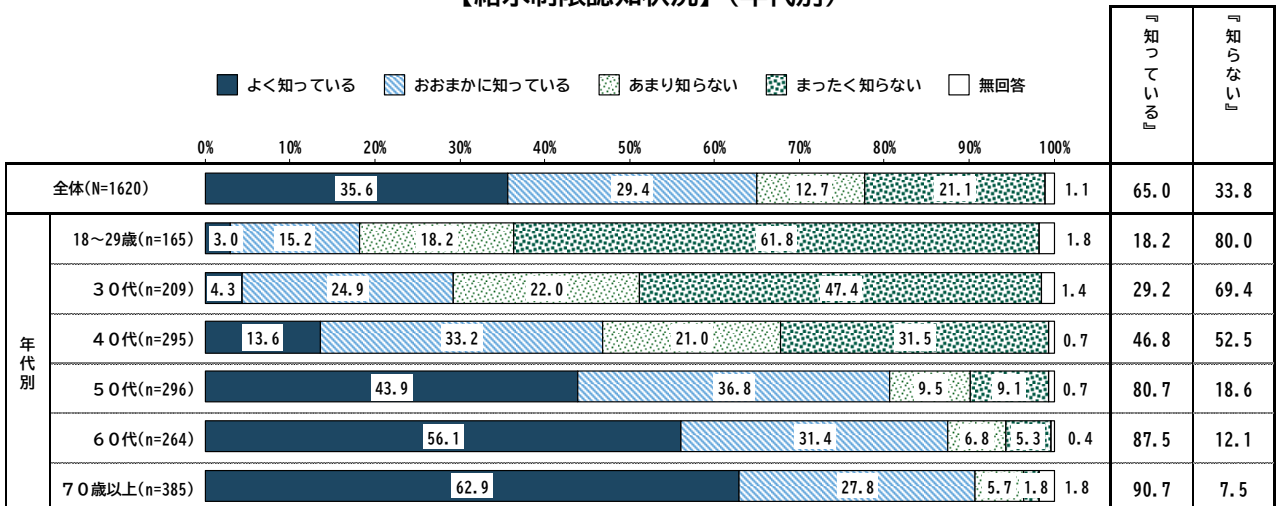
【給水制限認知状況】



《参考：令和元年度調査における昭和 53 年・平成 6 年断水の認知状況》



【給水制限認知状況】（年代別）

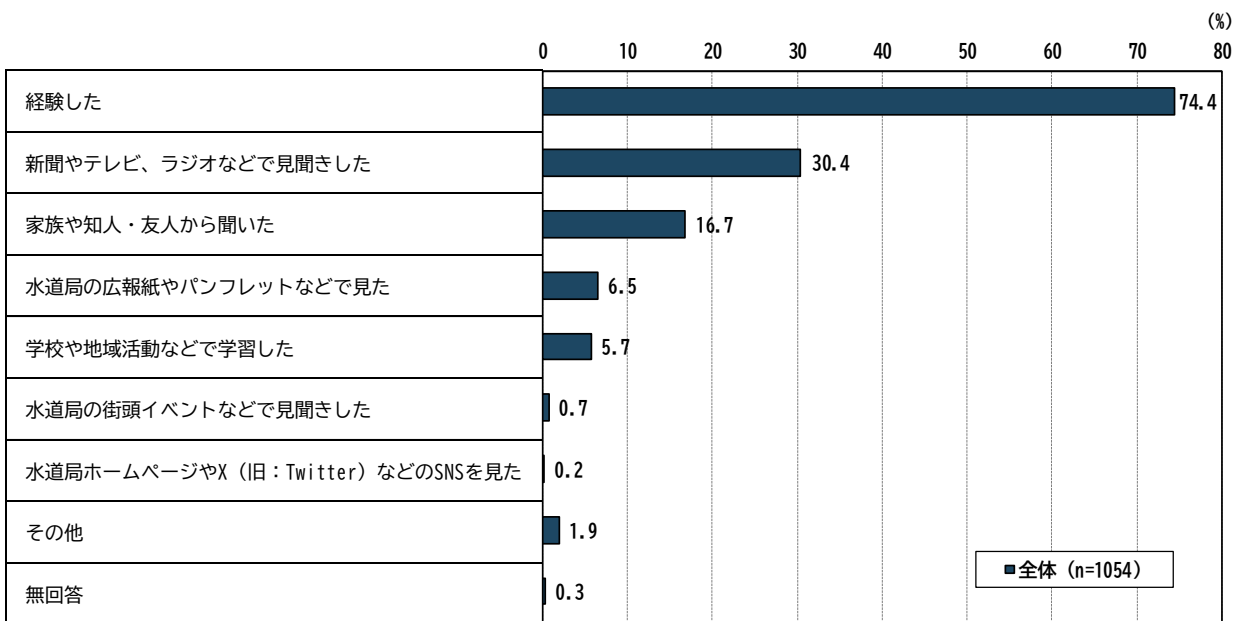


(4) 給水制限の認知経路

問7 問6で「1. よく知っている」「2. おおまかに知っている」と答えた方におたずねします。あなたは、2度の大渇水による給水制限があったことをどのようにして知りましたか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

2度の大渇水による給水制限があったことの認知経路としては、「経験した」が74.4%と最も高くなっている。次いで「新聞やテレビ、ラジオなどで見聞きした」(30.4%)、「家族や知人・友人から聞いた」(16.7%)となっている。

【給水制限の認知経路】



2 水道水に関する意識について

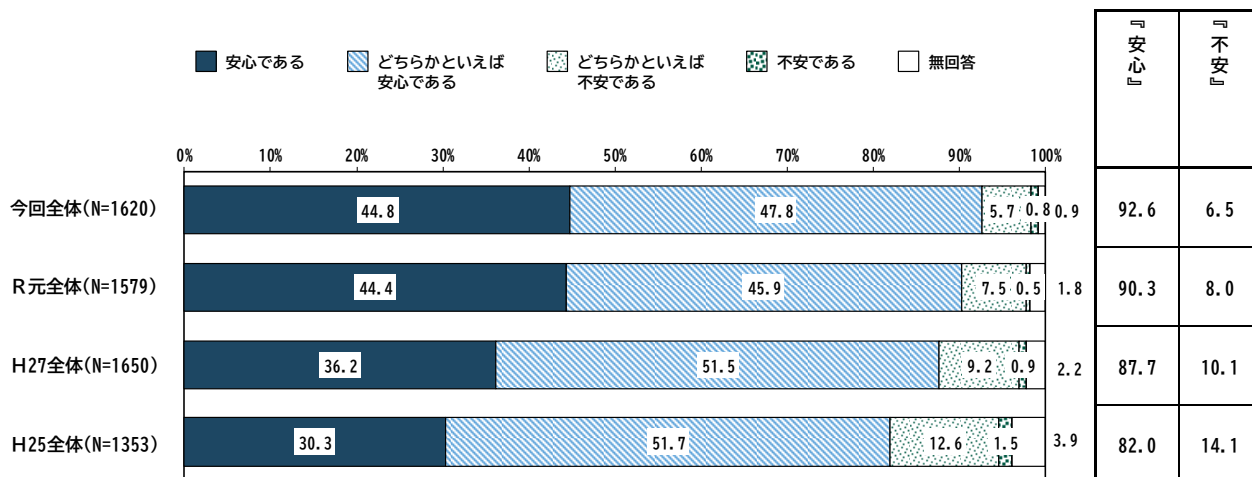
(1) 水道水の安全性

問8 福岡市の水道水の安全性について、あなたの考えに近いものをお答えください。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

福岡市の水道水の安全性については、「安心である」が44.8%、「どちらかといえば安心である」が47.8%、両者を合計した『安心』は92.6%となっている。一方、『不安』は6.5%（「どちらかといえば不安である」5.7% + 「不安である」0.8%）と少なくなっている。

経年変化でみると、平成25年度の82.0%以降、『安心』は増加傾向にあり、今回は92.6%と、平成25年度に比べて10.6ポイント増加している。

【水道水の安全性】（経年変化）



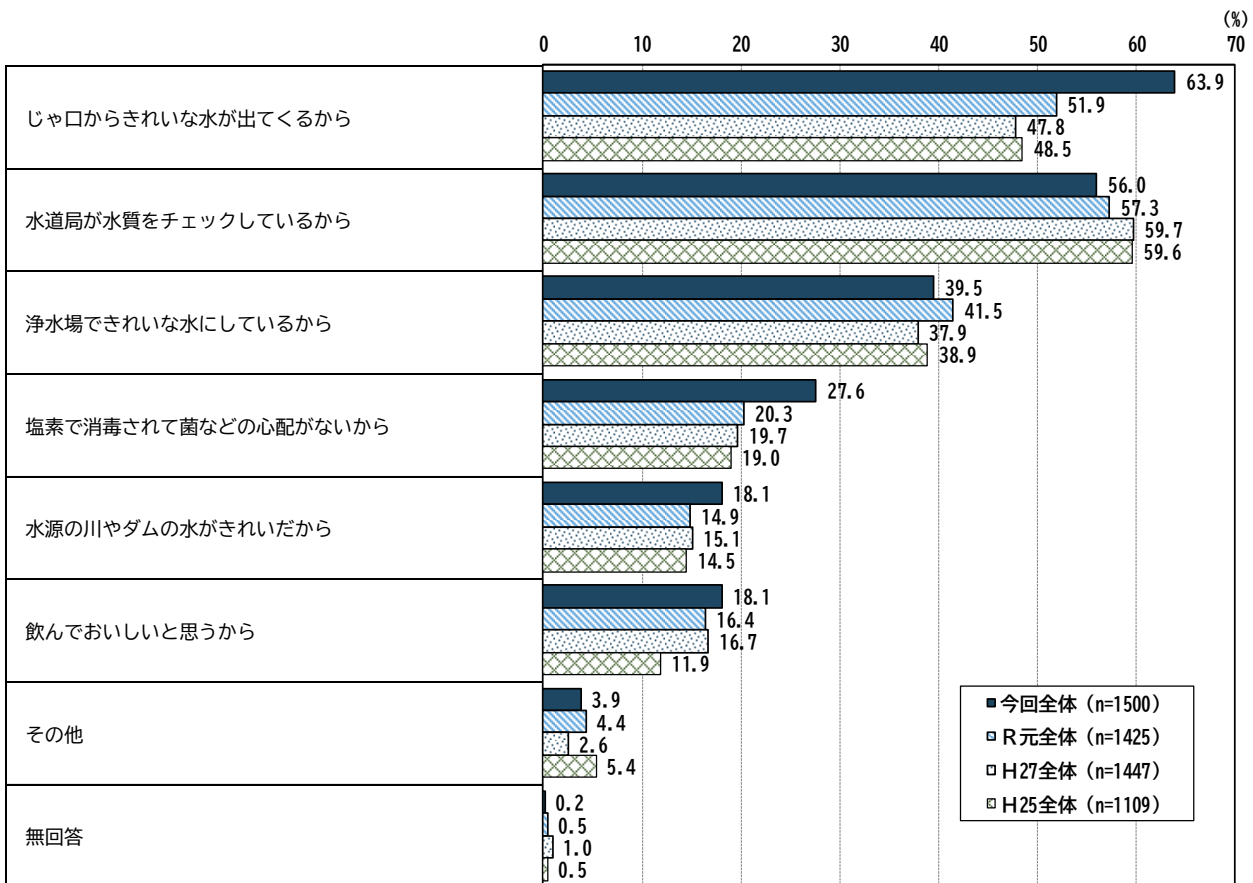
(2) 安心と思う理由

問9 問8で「1. 安心である」「2. どちらかといえば安心である」と回答した方におたずねします。あなたが、安心と思う理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

水道水が安心と思う理由としては、「じゃ口からきれいな水が出てくるから」が63.9%と最も高くなっている。次いで「水道局が水質をチェックしているから」(56.0%)、「浄水場できれいな水にしているから」(39.5%)、「塩素で消毒されて菌などの心配がないから」(27.6%)となっている。

経年変化でみると、「じゃ口からきれいな水が出てくるから」が増加傾向にあり、減少傾向にある「水道局が水質をチェックしているから」を抜いて最も高くなっている。

【水道水が安心と思う理由】(経年変化)



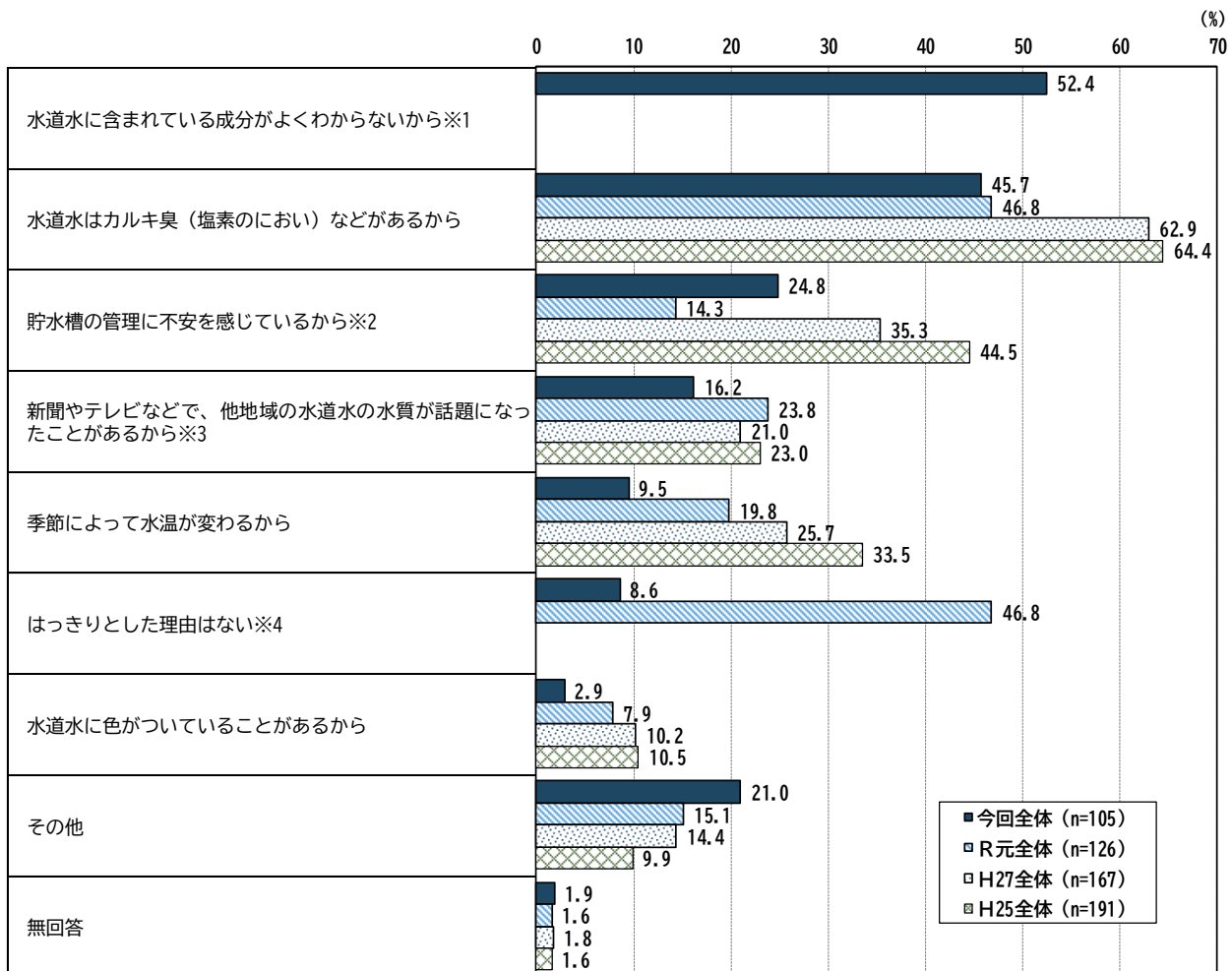
(3) 不安と思う理由

問10 問8で「3. どちらかといえば不安である」「4. 不安である」と回答した方におたずねします。あなたが、不安と思う理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

水道水が不安と思う理由としては、「水道水に含まれている成分がよくわからないから」が52.4%と最も高くなっている。次いで「水道水はカルキ臭(塩素のにおい)などがあるから」(45.7%)、「貯水槽の管理に不安を感じているから」(24.8%)、「新聞やテレビなどで、他地域の水道水の水質が話題になったことがあるから」(16.2%)となっている。

経年変化でみると、「はっきりとした理由はない」が、前回(令和元年度)から大幅に減少しているが、これは前回この選択肢を選んだ回答者の一部が、今回新しく追加した「水道水に含まれている成分がよくわからないから」という選択肢を選んだことによるものと考えられる。

【水道水を不安と思う理由】(経年変化)



※1 今回追加した選択肢
 ※2 令和元年度以前は「貯水槽の管理が不十分で心配だから(定期的な清掃をしていないなど)」
 ※3 今回「他地域の」を追加
 ※4 令和元年度は、「はっきりとした理由はないが、漠然と不安を感じるから」

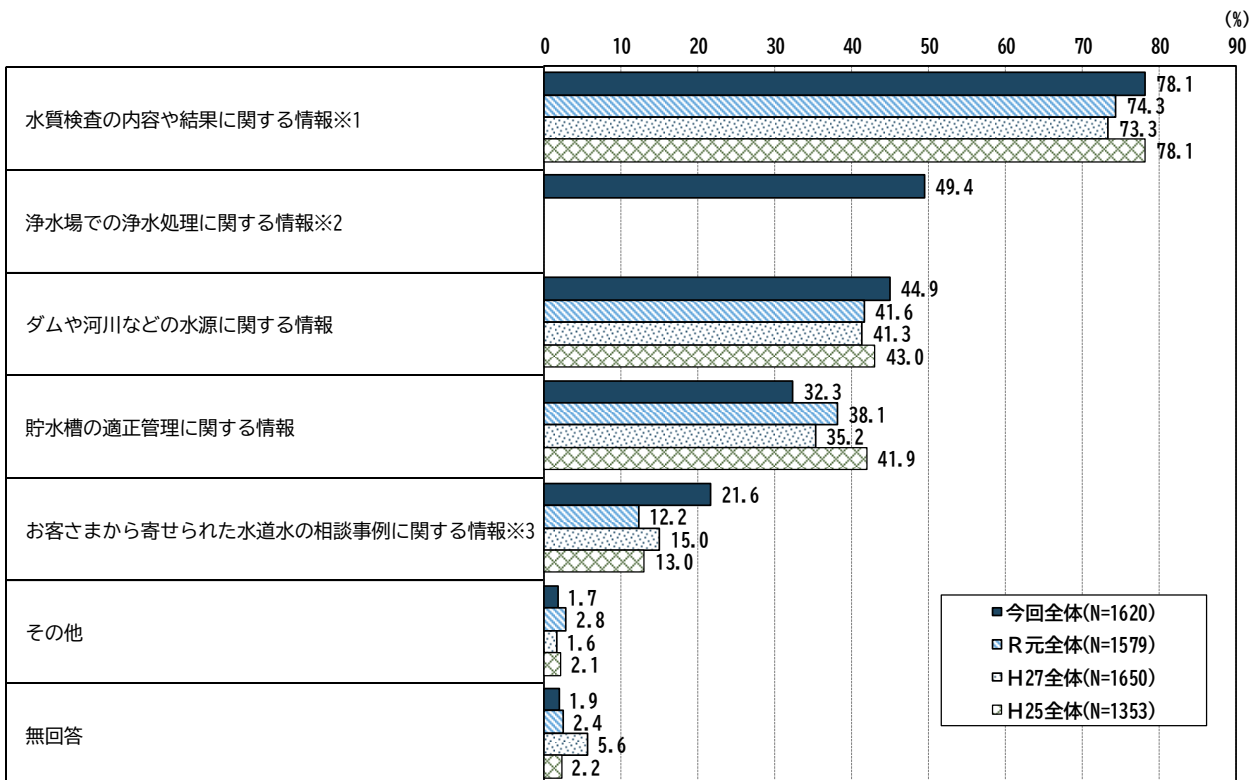
(4) 安心感を得るために必要な情報

問 11 水道水に、より安心感を得るため、どのような情報の充実を望まれますか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

水道水に、より安心感を得るための情報としては、「水質検査の内容や結果に関する情報」が 78.1%と最も高くなっている。次いで「浄水場での浄水処理に関する情報」(49.4%)、「ダムや河川などの水源に関する情報」(44.9%)、「貯水槽の適正管理に関する情報」(32.3%)、「お客さまから寄せられた水道水の相談事例に関する情報」(21.6%)となっている。

経年変化でみると、今回追加した「浄水場での浄水処理に関する情報」が 49.4%で2番目に高くなったが、これを除くと、平成 25 年度以降の大きな変化はみられない。

【安心感を得るために必要な情報】(経年変化)



※1 令和元年度以前は「福岡市が実施している水質検査の結果に関する情報」
 ※2 今回から追加
 ※3 令和元年度以前は「過去にお客さまから寄せられた水道水に関する相談事例」

3 家庭で使用している飲用水について

(1) 飲用水の飲用方法

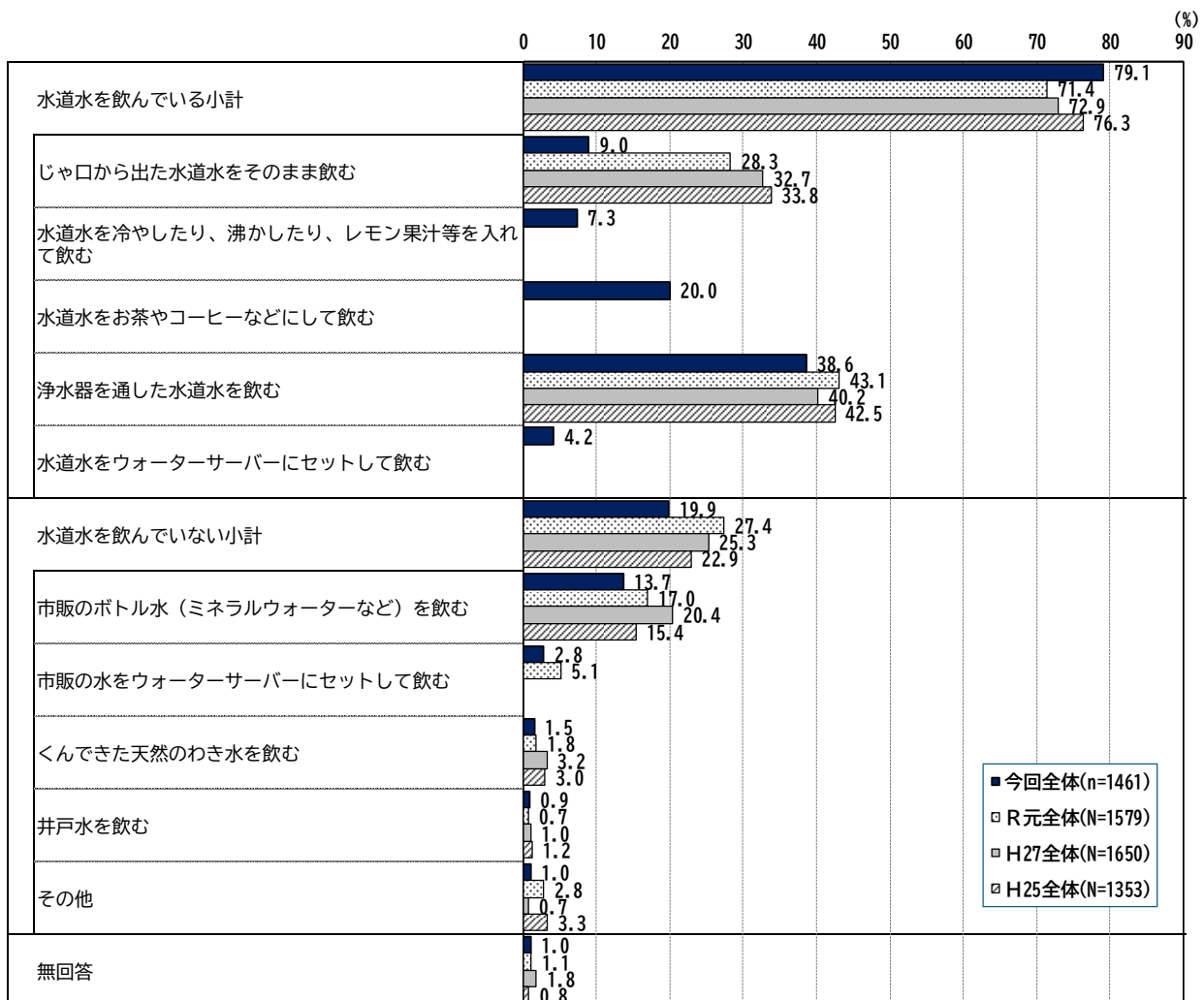
問 12 あなたは、ご家庭で、飲用水をどのような方法で飲んでいきますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

家庭での飲用水の飲み方については、平成 27 年度以降「浄水器を通した水道水を飲む」が最も高くなっており、「市販のボトル水(ウォーターサーバーなど)を飲む」は、平成 27 年度以降減少傾向である。

「じゃ口から出た水道水をそのまま飲む」が、今回大幅な減少となっているが、これは過去の調査でこの選択肢を回答した人の一部が、今回は新たに追加した「水道水を冷やす、沸かす、レモン果汁等を入れて飲む」、「水道水をお茶やコーヒーなどにして飲む」という選択肢を選んだことによるものと考えられる。

水道水が元になっている飲用方法をあわせた『水道水を飲んでいる』グループは、79.1%で、前回調査より 7.7 ポイント増加し、水道水が元になっていない飲用方法をあわせた『水道水を飲んでいない』グループは 19.9%で 7.5 ポイント減少し、2割未満となっている。

【家庭での飲用水の飲み方】(経年変化)

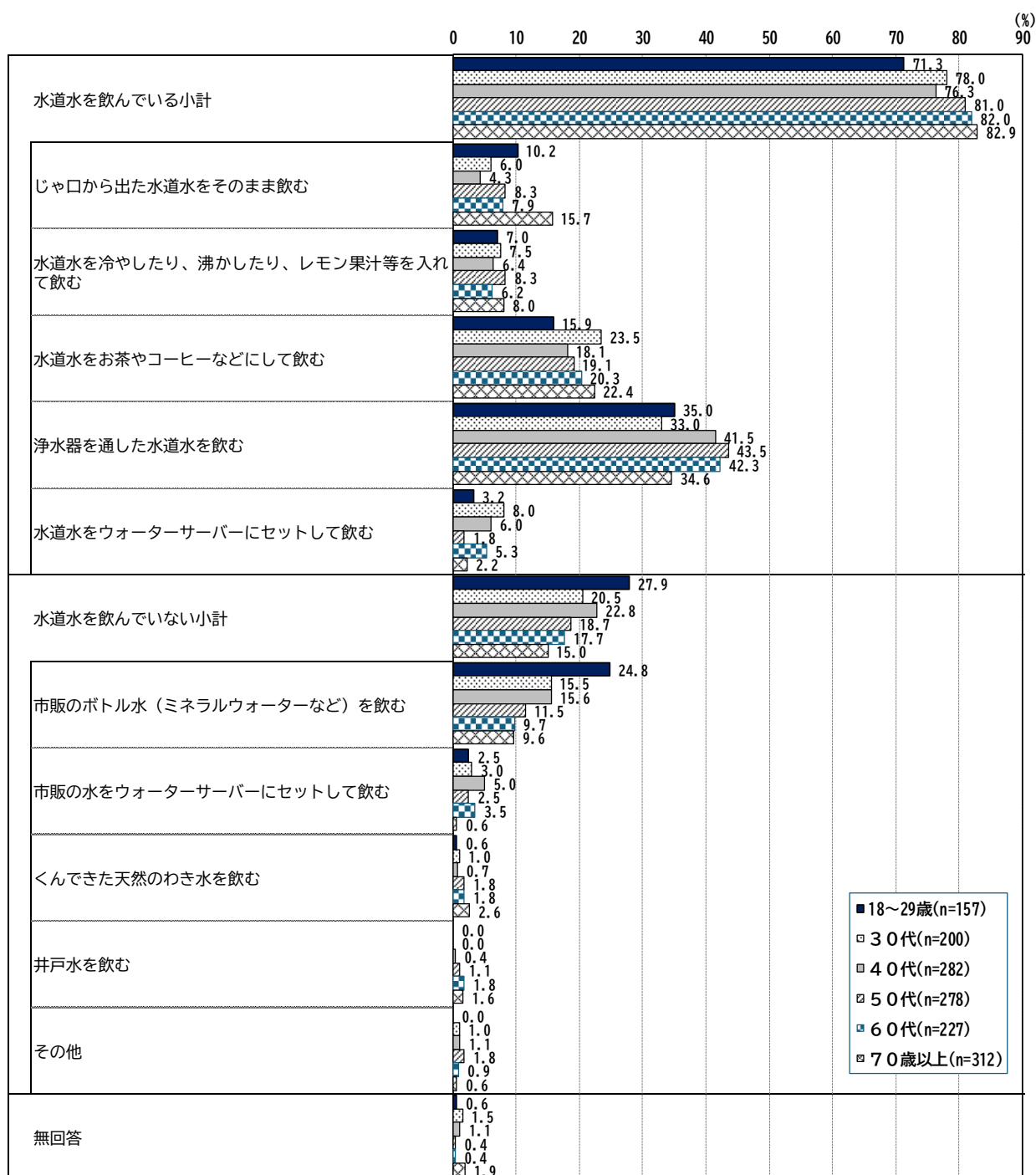


※本設問は単数回答であるが、令和5年度は、選択肢の変更により、全体(1620)の9.8%(159)の複数回答があったため、集計上の全体標本数(N)を、複数回答を除いたn=1461として行った。

年代別でみると、18～29 歳で「市販のボトル水(ミネラルウォーターなど)を飲む」が他の年代に比べて高くなっている。

また、年代が上がるほど、『水道水を飲んでいる』が高くなっている。70 歳以上で、「水道水をそのまま飲んでいる」が最も高く、18～29 歳で、「市販のボトル水(ミネラルウォーターなど)を飲む」が最も高くなっている。

【家庭での飲用水の飲み方】(年代別)

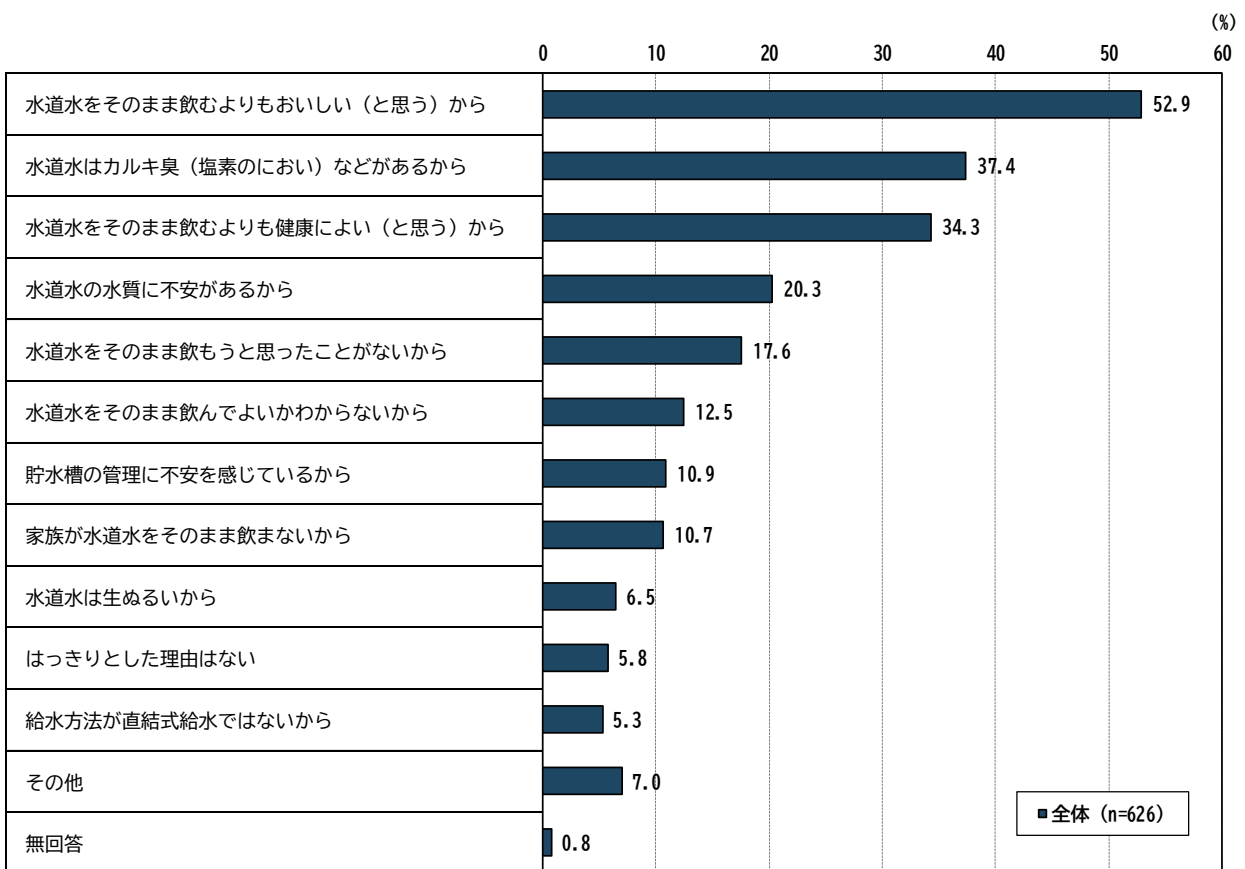


(2) 水道水に浄水器やウォーターサーバーを利用して飲用している理由

問 13 問 12 で「4 浄水器を通した水道水を飲む」、「5 水道水をウォーターサーバーにセットして飲む」と回答した方におたずねします。あなたが、水道水をそのまま飲まない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

水道水をそのまま飲まない理由としては、「水道水をそのまま飲むよりもおいしい(と思う)から」が52.9%と最も高くなっている。次いで「水道水はカルキ臭(塩素のにおい)などがあるから」(37.4%)、「水道水をそのまま飲むよりも健康によい(と思う)から」(34.3%)、「水道水の水質に不安があるから」(20.3%)となっている。

【浄水器等を通した水道水を飲用水に使用する理由】

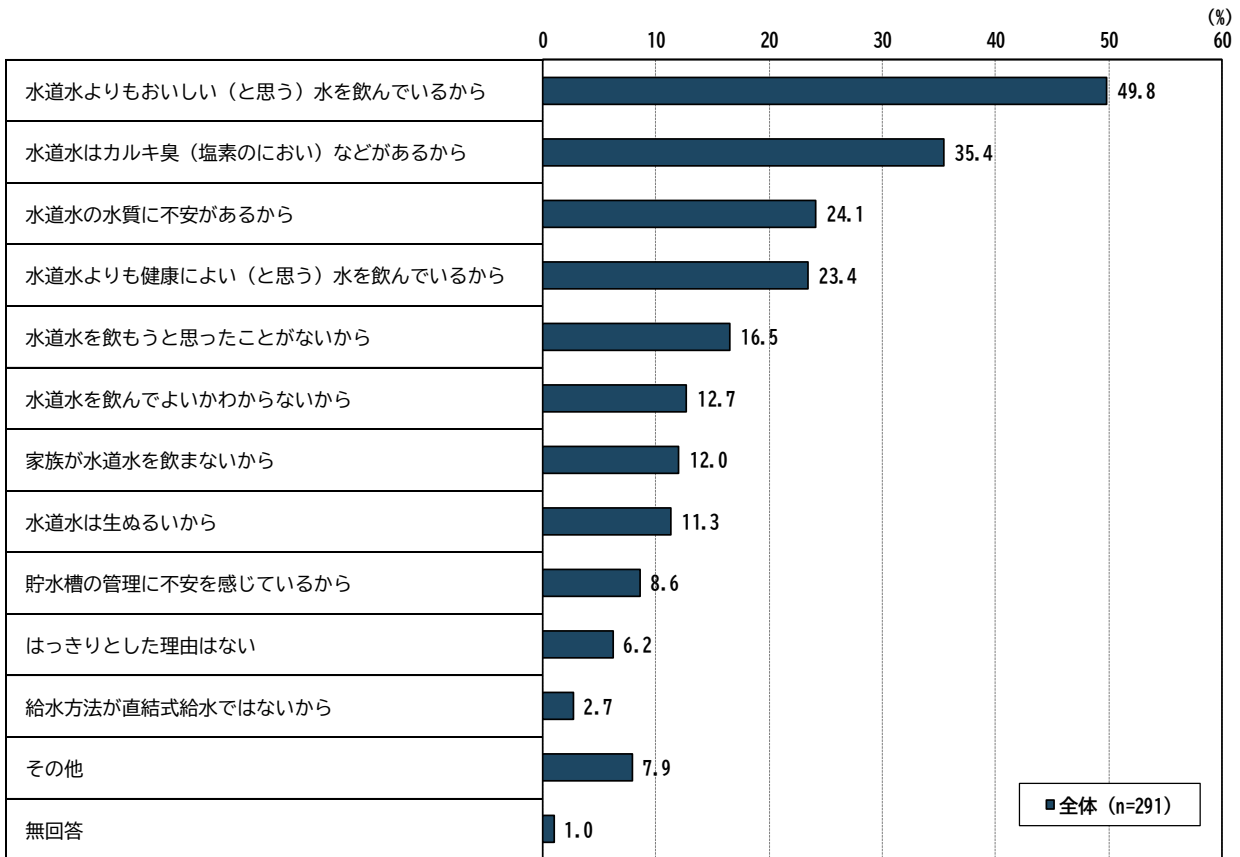


(3) 市販のボトル水やくんできた天然水を飲用する理由

問 14 問 12 で「6. 市販のボトル水（ミネラルウォーターなど）を飲む」「7. 市販の水をウォーターサーバーにセットして飲む」「8. くんできた天然のわき水を飲む」「9. 井戸水を飲む」「10. その他」と回答した方におたずねします。あなたが、水道水を飲まない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

水道水を飲まない理由としては、「水道水よりもおいしい(と思う)水を飲んでいるから」が 49.8%と最も高くなっている。次いで「水道水はカルキ臭(塩素のにおい)などがあるから」(35.4%)、「水道水の水質に不安があるから」(24.1%)、「水道水よりも健康によい(と思う)水を飲んでいるから」(23.4%)となっている。

【飲用水に市販のボトル水等を利用する人の水道水を飲まない理由】



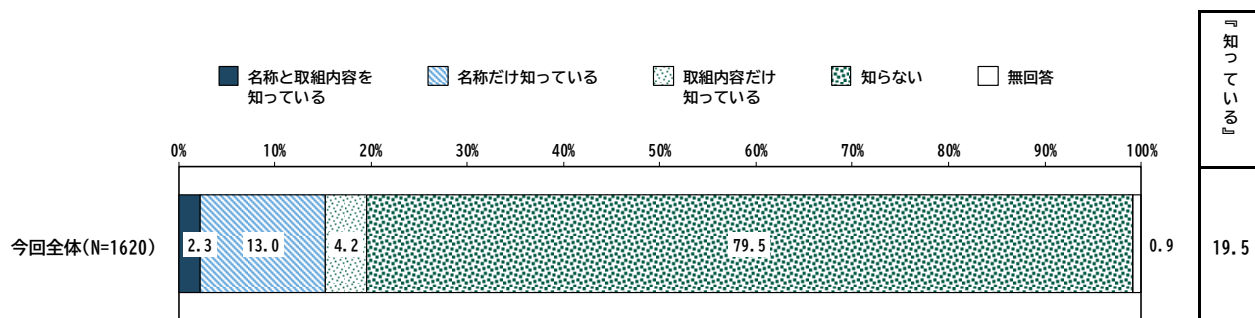
4 安全でおいしい水道水プロジェクトについて

(1) 安全でおいしい水道水プロジェクトについて

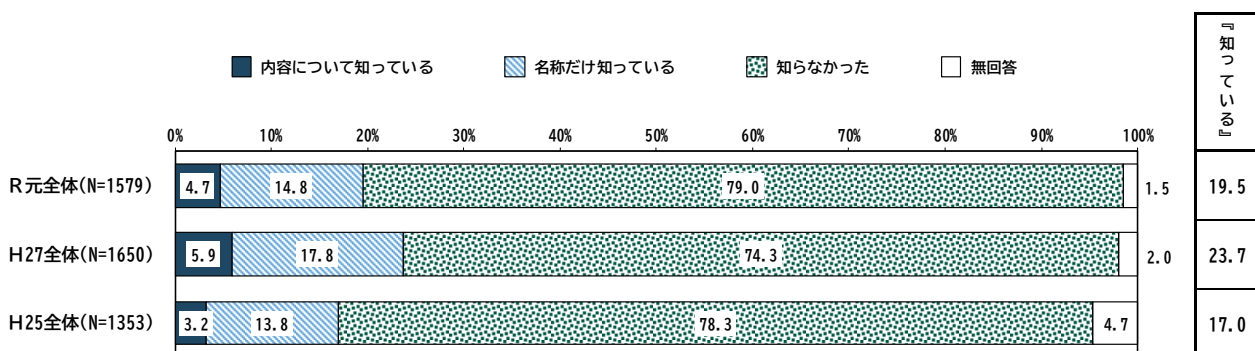
問 18 水道局では、ひとりでも多くのお客さまが水道水にご満足いただけることを目標として、「安全でおいしい水道水プロジェクト」に取り組んでいます。あなたは「安全でおいしい水道水プロジェクト」のことを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

「安全でおいしい水道水プロジェクト」については、「名称と取組内容を知っている」が 2.3%、「名称だけ知っている」が 13.0%、「取組内容だけ知っている」が 4.2%となっており、これらを合計した『知っている』は 19.5%となっている。「知らない」は 79.5%となっている。

【安全でおいしい水道水プロジェクトの認知状況】



《参考：平成 25 年度から令和元年度の推移》



(2) 水道水に対する満足度

問 20 あなたは、水道水の味、におい、色などについてどの程度満足していますか。満足の程度について、お答えください。次のア～クの項目について、あてはまる満足度をそれぞれ1つずつ選び、番号に○をつけてください。

水道水に対する満足度について、「満足である」と「どちらかという満足である」を合わせた『満足』は、「水道水質に関する総合満足度」で80.2%となっている。各項目としては、「風呂・洗面・洗濯に使用する水として」が93.4%と最も高く、次いで「にごりの少なさ・無色」(85.6%)、「調理に使用する水として」(81.0%)となっている。

【水道水に対する満足度】(経年変化)

		満足度の割合							『満足』	『不満』
		満足である	どちらかという満足である	どちらかという不満である	不満である	わからない・知らない	無回答	その他		
ア. じゃ口からそのまま飲む水として	今回全体	11.7	40.4	22.0	9.7	14.5	1.6	52.1	31.7	
	R元全体	13.2	39.1	22.2	12.3	10.1	3.1	52.3	34.5	
	H27全体	12.0	43.3	26.9	12.8		5.0	55.3	39.7	
	H25全体	8.2	41.4	30.5	14.6		5.2	49.6	45.1	
イ. 調理に使用する水として	今回全体	36.9	44.1	10.5	3.5	3.8	1.2	81.0	14.0	
	R元全体	35.1	42.6	11.1	4.7	4.1	2.4	77.7	15.8	
	H27全体	28.7	45.9	17.8	3.9		3.6	74.6	21.7	
	H25全体	25.9	46.3	17.7	5.8		4.2	72.2	23.5	
ウ. 風呂・洗面・洗濯に使用する水として	今回全体	63.2	30.2	3.3	0.7	1.2	1.3	93.4	4.0	
	R元全体	61.5	30.6	1.3	0.7	1.6	2.4	92.1	2.0	
	H27全体	59.3	31.8	4.6	1.2		3.1	91.1	5.8	
	H25全体	57.9	31.2	5.6	1.6		3.6	89.1	7.2	
エ. 味(おいしさ)	今回全体	10.1	44.0	16.6	8.6	19.3	1.4	54.1	25.2	
	R元全体	10.4	41.0	19.0	10.1	15.8	3.7	51.4	29.1	
	H27全体	8.9	46.8	26.7	12.2		5.4	55.7	38.9	
	H25全体	6.8	45.4	27.9	14.5		5.4	52.2	42.4	
オ. カルキのにおいの少なさ	今回全体	17.5	43.6	15.4	6.9	15.1	1.5	61.1	22.3	
	R元全体	18.0	42.7	18.0	5.9	11.8	3.5	60.7	23.9	
	H27全体	16.5	48.2	24.4	7.0		3.9	64.7	31.4	
	H25全体	12.1	47.7	25.4	9.5		5.2	59.8	34.9	
カ. かびのにおいの少なさ	今回全体	28.9	42.4	8.8	2.5	15.9	1.5	71.3	11.3	
	R元全体	26.9	44.5	10.3	2.0	12.9	3.4	71.4	12.3	
	H27全体	28.0	49.6	14.5	3.1		4.7	77.6	17.6	
	H25全体	24.6	50.1	15.8	3.8		5.6	74.7	19.6	
キ. にごりの少なさ・無色	今回全体	44.9	40.7	4.3	7.4		1.5	85.6	5.5	
	R元全体	44.9	38.6	4.2	8.1		3.0	83.5	5.3	
	H27全体	43.3	43.5	8.1	1.2		3.5	86.8	9.3	
	H25全体	39.8	44.1	8.1	3.0		5.0	83.9	11.1	

※今回全体(N=1620) R元全体(N=1579) H27全体(N=1650) H25全体(N=1353)

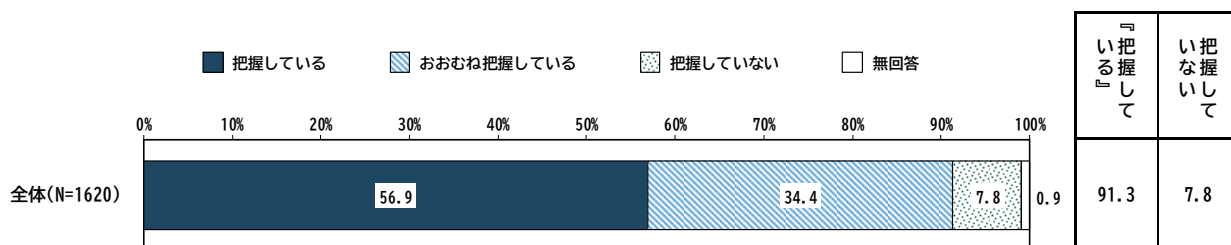
5 水道料金について

(1) 水道料金等の把握状況

問 23 あなたのご家庭でお支払いいただいている水道料金等を把握していますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

家庭で支払っている水道料金等の把握については、「把握している」が56.9%、「おおむね把握している」が34.4%、「把握している」と「おおむね把握している」と合わせた『把握している』は、91.3%となっており、「把握していない」が7.8%となっている。

【水道料金の把握状況】

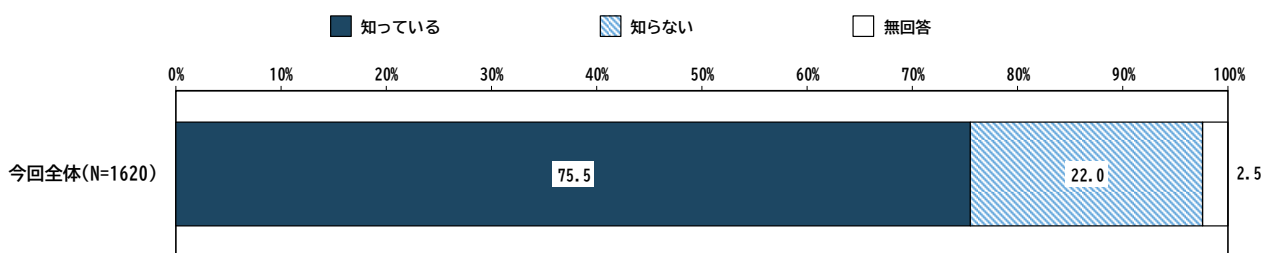


(2) 水道料金が全国一律でないことについて

問 24 あなたは、水道料金が全国一律でないことを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。（あてはまる番号に1つだけ○印）

水道料金が全国一律でないことについては、「知っている」が75.5%、「知らない」が22.0%となっている。

【水道料金が全国一律でないことの認知状況】



6 水道局の取組みについて

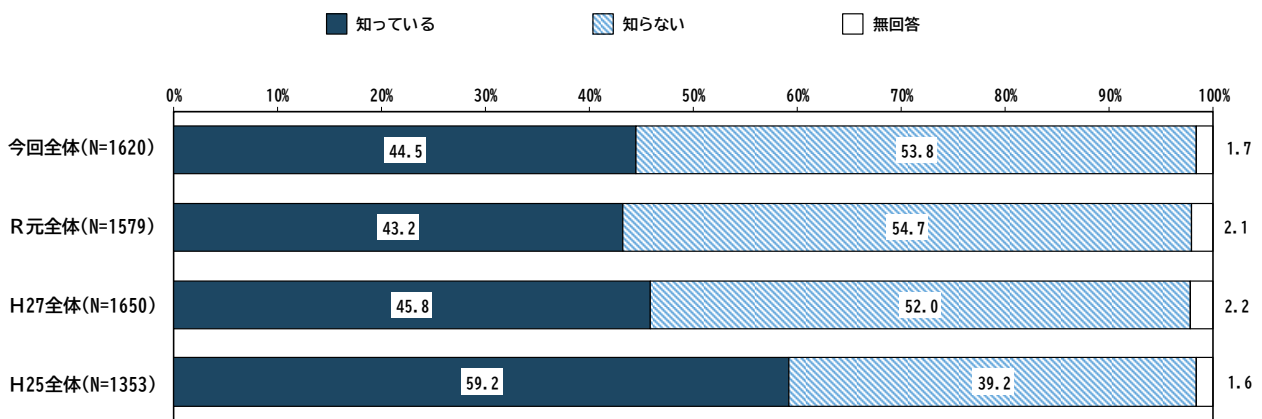
(1) 福岡市で使用している水の多くを市域外に頼っていること

問 30 あなたは、福岡市で使用している水のおよそ3分の1を筑後川から導水するなど、水源の多くを市域外に頼っていることを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

福岡市で使用している水の多くを市域外に頼っていることについては、「知っている」が44.5%、「知らない」が53.8%と、ほぼ二分化されている。

経年変化でみると、「知っている」は、平成25年度の59.2%から平成27年度は45.8%に減少したが、その後は、横ばいで推移している。

【福岡市で使用している水の多くを市域外に頼っていることの認知状況】（経年変化）

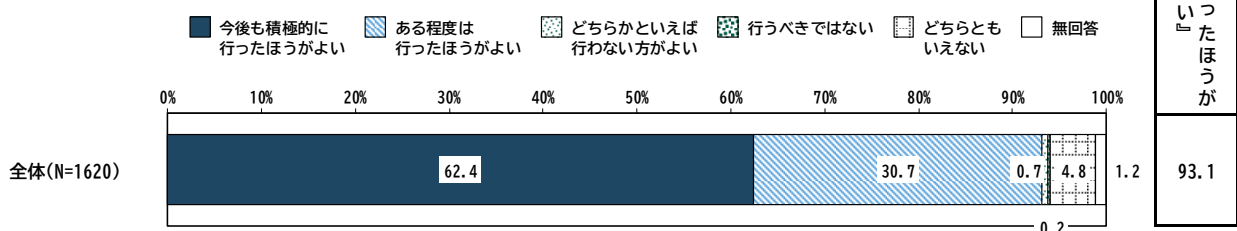


(2) 国際貢献の取組みについて

問 38 水道局では、一人でも多くの方が安全な水道水を使えるように、節水型都市づくりを通じてつちかった水の有効利用に関する高い技術（世界トップの漏水防止技術など）を活かし、開発途上国に対する技術協力（職員の派遣、研修生の受入れなど）を実施しています。この国際貢献の取組みについて、あなたの考えに近いものをお答えください。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

水道局の国際貢献の取組みについては、「今後も積極的に行ったほうがよい」が62.4%と最も多く、「ある程度は行ったほうがよい」の30.7%を加えると、『行ったほうがよい』は、93.1%と高くなっている。

【国際貢献の取組みについて】



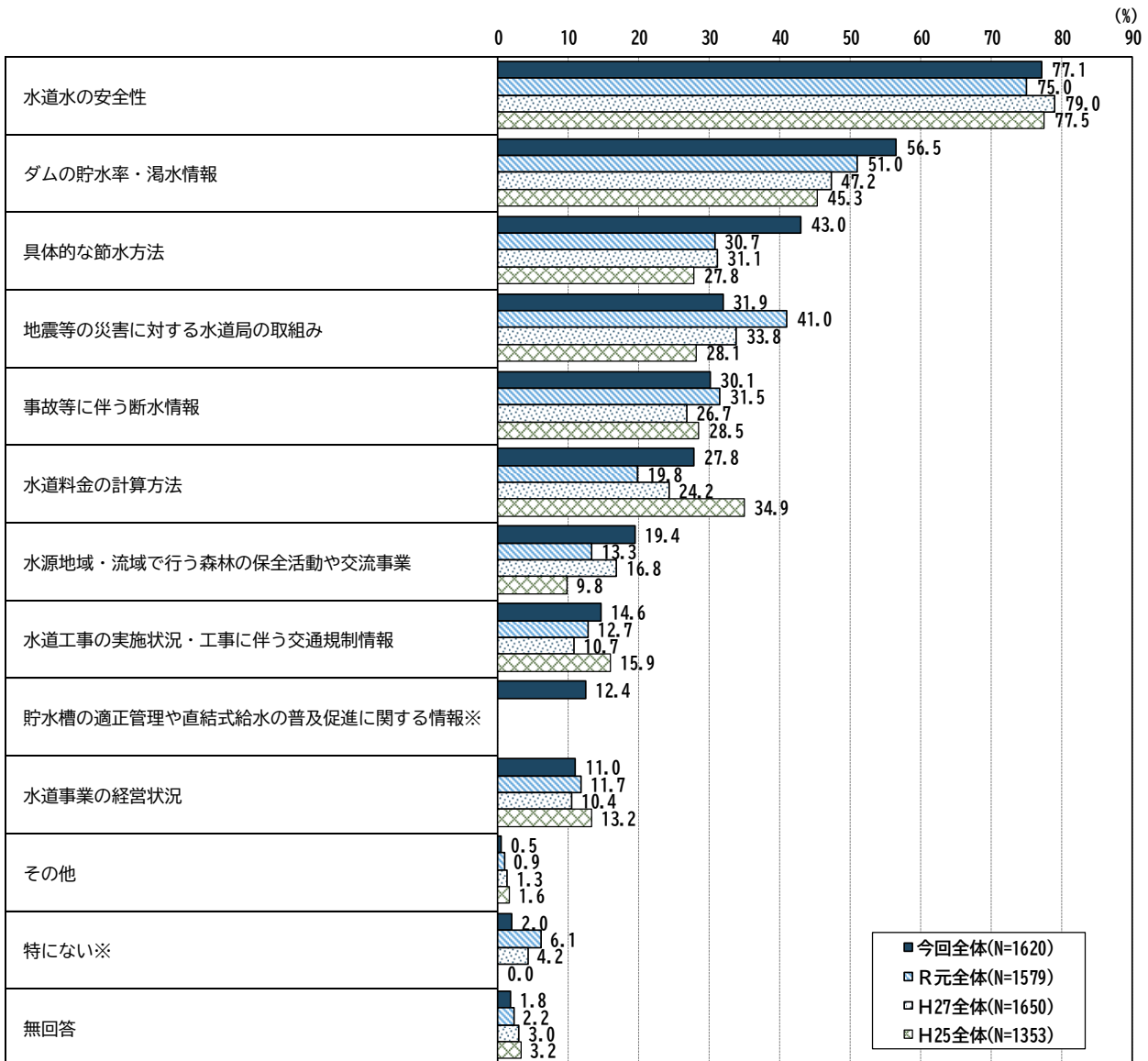
(3) 特に知りたい水道に関する情報

問 41 あなたが、特に知りたい水道に関する情報は何か。次の中からあてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

特に知りたい水道に関する情報としては、「水道水の安全性」が 77.1%と最も高くなっている。次いで「ダム
の貯水率・渇水情報」(56.5%)、「具体的な節水方法」(43.0%)、「地震等の災害に対する水道局の取組み」
(31.9%)、「事故等に伴う断水情報」(30.1%)となっている。

経年変化でみると、「ダム貯水率・渇水情報」、「具体的な節水方法」の増加傾向がうかがえるものの、全体的な傾向にはあまり大きな変化はみられない。

【特に知りたい水道に関する情報】(経年変化)



※ 今回から追加

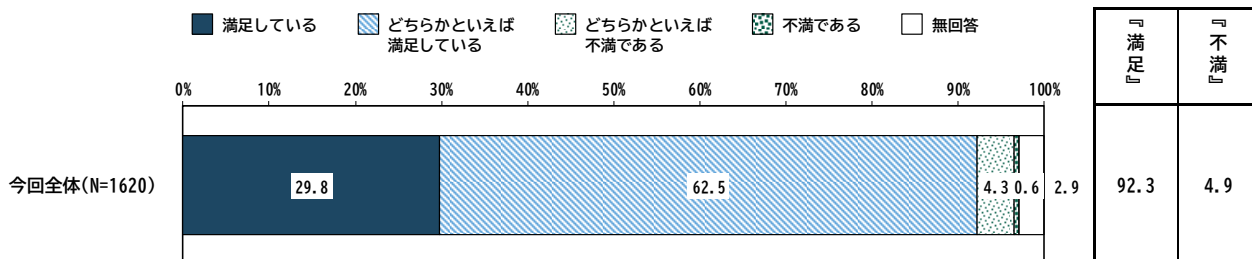
7 水道行政への評価について

(1) 水道行政の総合的満足度

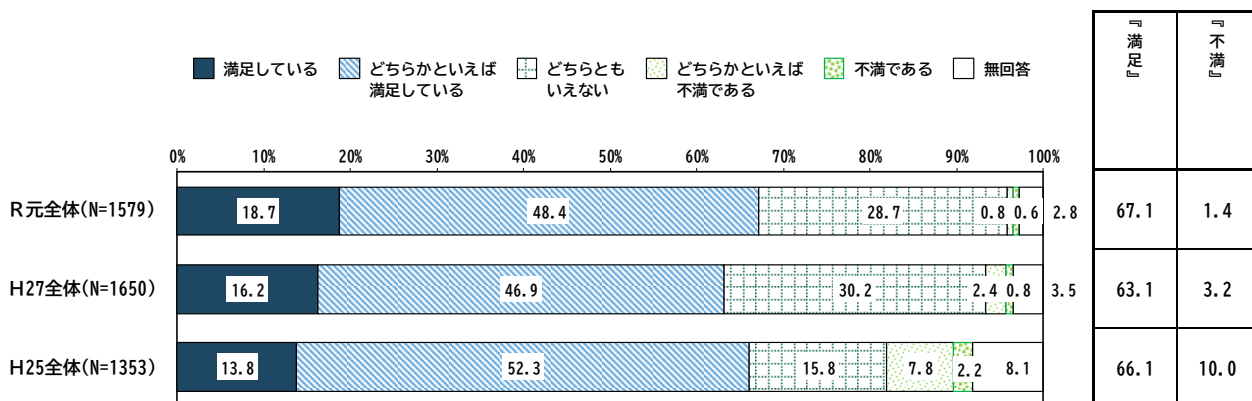
問 42 あなたは、現在の福岡市の水道行政を総合的にみてどう思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

現在の福岡市の水道行政の総合的な満足度としては、「満足している」が 29.8%、「どちらかといえば満足している」が 62.5%、両者を合計した『満足』は 92.3%となっている。一方、『不満』は 4.9%（「不満である」0.6%+「どちらかといえば不満である」4.3%）と低くなっている。今回調査では、前回調査まで選択肢にあった「どちらともいえない」を削除しており、『満足』と『不満』の経年変化が大きくなっている。令和元年度まで「どちらともいえない」と回答していた人の大半が、『満足』に回答した結果となっている。

【水道行政の総合的満足度】



《平成 25 年度から令和元年度の推移》



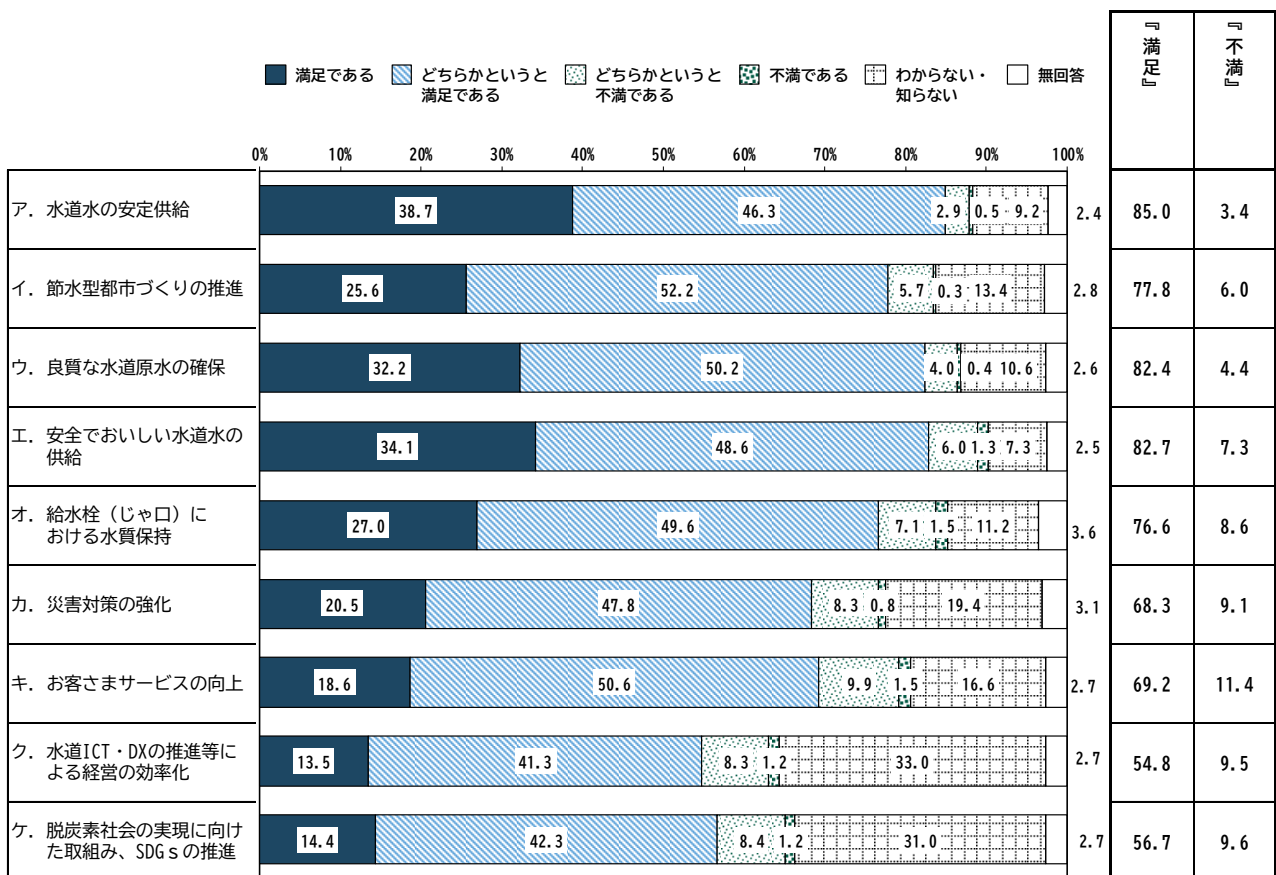
(2) 各種取組みに対する満足度

問 43 あなたは、現在の水道局の取組みについて、どの程度満足していますか。次のア～ケの項目についてあてはまる満足度をそれぞれ1つずつ選び、番号に○をつけてください。

現在の水道局の取組みについて、「満足である」と「どちらかという満足である」を合わせた『満足』は、「水道水の安定供給」が85.0%と最も高く、「安全でおいしい水道水の供給」(82.7%)、「良質な水道原水の確保」(82.4%)も8割台と高くなっている。

『満足』の割合が低いのは、「水道 ICT・DX の推進等による経営の効率化」(54.8%)や「脱炭素社会の実現に向けた取組み、SDGsの推進」(56.7%)で5割台の満足度になっている。

【各種取組みに対する満足度】



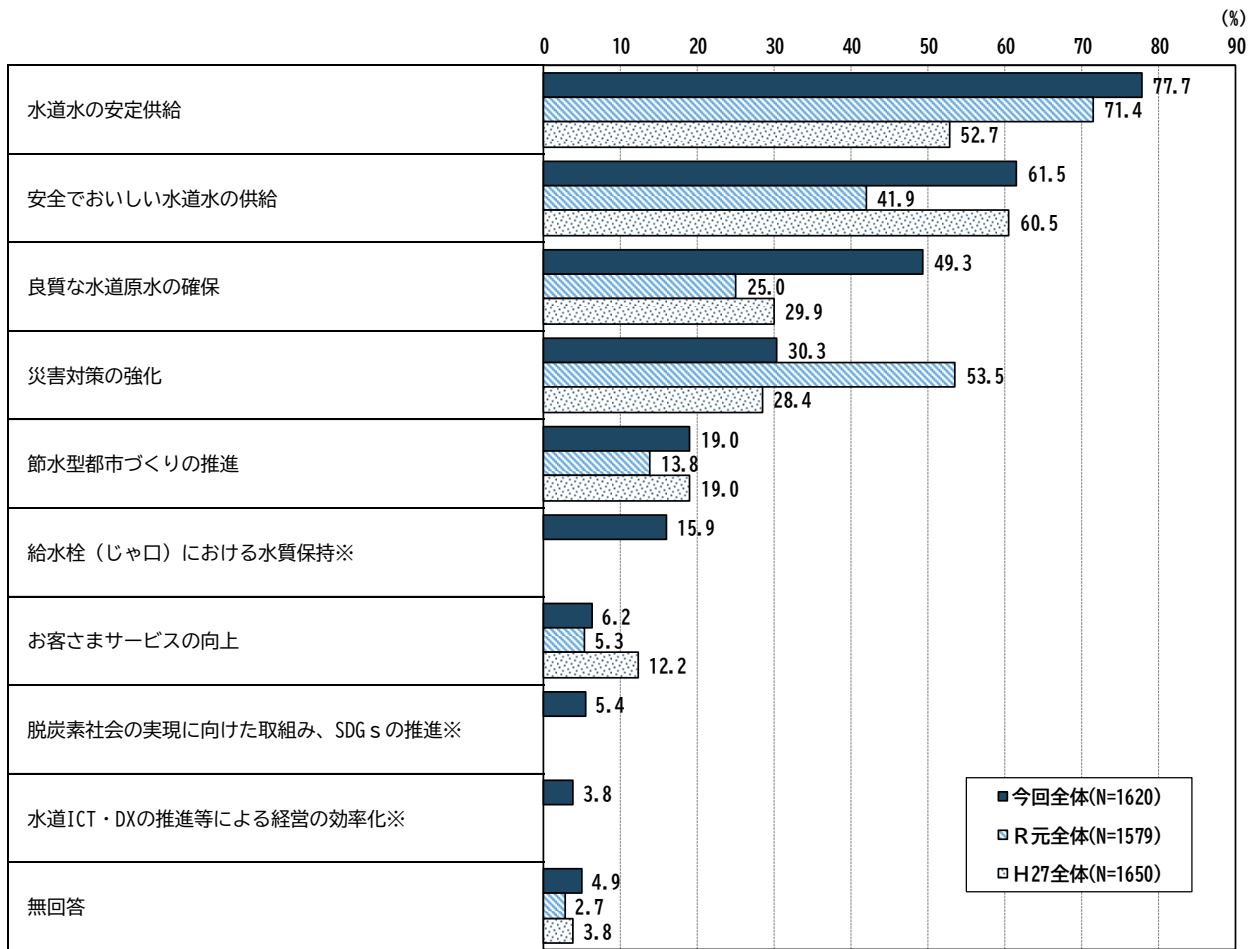
(3) 今後、重点的に力を入れて取り組んでほしいこと

問 44 あなたが、福岡市の水道行政について、今後、重点的に力を入れて取り組んでほしいことについて、次の中からあてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

今後、重点的に力を入れて取り組んでほしい水道行政としては、「水道水の安定供給」が77.7%と最も高くなっている。次いで「安全でおいしい水道水の供給」(61.5%)、「良質な水道原水の確保」(49.3%)、「災害対策の強化」(30.3%)となっている。

経年変化でみると、上位項目では調査年度により割合にばらつきがみられ、一定の傾向となっていないが、「水道水の安定供給」は一貫して増加傾向にある。

【今後、重点的に力を入れて取り組んでほしいこと】(経年変化)



※ 今回から追加

令和5年度

福岡市の水道に関するお客さまアンケート調査報告書(概要版)

令和6年3月 発行

発行／福岡市水道局総務部総務課

福岡市博多区博多駅前1丁目 28-15

TEL: 092-483-3139

FAX: 092-482-1376

somu.WB@city.fukuoka.lg.jp